

# 財政と公共政策

第32巻第1号（通巻第47号）2010年6月  
ISSN 1348-8805

## Public Finance and Public Policy

## 『財政と公共政策』投稿規定

本誌は、財政と公共政策に関する幅広い領域の理論的・実証的研究の成果を公表し、相互交流を促すことによって財政学研究、および公共政策研究の更なる深化・発展に寄与していくことを目指しています。本誌の発行は財政学研究会を母体としていますが、上述の目的のために会員だけでなく広く非会員の方々からの本誌への投稿も歓迎します。

本誌への投稿論文は、財政学研究会内に設けられた『財政と公共政策』編集委員会によって受理され、編集委員会の選任した複数の査読者による審査の上、掲載を許可されたものが掲載されます。なお、投稿を希望される方は、以下の投稿規定に留意されるようお願い申し上げます。

### 投稿規程

#### [本誌の扱う内容]

財政学（予算論、経費論、租税論、公債論、地方財政論、国際財政論、財政政策論、財政思想、財政史等）、国家・自治体論、地方自治論、ガバナンス論、規制緩和、民営化、公益事業論、公共政策論（環境政策、交通政策、国土政策、都市政策…）等関連領域。

#### [投稿論文の受理]

投稿論文は随時受け付けています。到着した原稿から順次査読に入り、査読終了後に掲載が決定したのから順番に、年2回発行（5月、10月）される本誌に掲載していくことにします。なお、投稿された論文は返却されません。

#### [投稿論文の種別]

投稿論文には、研究論文（制限字数25,000字）、研究ノート（同15,000字）、展望論文（同20,000字）の区別があります。ただし、制限字数は全て図表込みの数字です。図表を用いる場合は1点を800字と計算し、5点までを上字数に含めることができます。また、総字数が上記の制限字数を超える場合、文章については1ページ（約1,700字）につき3000円、図表については1点につきその作成費用相当額だけ、投稿料が引き上げられますので、あらかじめご留意下さい。なお、抜き刷りににつきましてはご要望に添えかねますので、ご了承ください。

#### [投稿料]

財政学研究会会員は無料、非会員は有職者の方が1万円、大学院生の方は5千円となります。

#### [論文提出要領]

投稿を希望される方は、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎いずれかによる文書ファイルを下記の投稿論文送付先に提出して下さい。なお、上記の文書ファイルではなくハードコピーにて投稿を希望される方は本研究会までお問い合わせ下さい。また、掲載が決定した場合には、テキストファイル、Microsoft Word、一太郎のいずれかによる文書ファイルを提出して頂くこととなりますので、あらかじめご留意下さい。図表をファイルとして提出する場合には、上記ワープロソフトで作成できるもの以外には、Microsoft Excel、Lotus1-2-3によって作成されたものおよびCSV（カンマ区切りテキスト）ファイルに限り、受領することが可能です。それ以外のものは、鮮明な印刷原稿、またはコピーをご用意下さい。なお、投稿論文には以下の内容を記載した表紙を添付して下さい。①論文タイトル②投稿者の氏名③連絡先（住所、電話・FAX番号、Eメールアドレス）④英文タイトル⑤英文氏名⑥内容要約（日本語、約200字）。

#### [投稿論文送付先]

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院経済学研究科財政学（植田）研究室内  
Tel：075-753-7531（内線3454）  
Fax：075-753-3512

# 目

# 次

## 特集

### 公共事業と公私分

- 金澤史男編著『現代の公共事業』および  
同編『公私分担と公共政策』の成果と意義……………門野圭司 …… 2
- 公共事業改革論 —長野県モデルの検証—……………森裕之 …… 12
- 現代資本主義と公共事業・公私分担：  
金澤史男編著 2点をめぐる討論への若干の問題提起……………碓山洋 …… 27
- 質疑応答 ……………… 36

## 研究論文

- イエテボリコミュニティの都市経営システムと政策評価……………榎田洋 …… 48
- 法人税調和の取り組みの基礎付け：欧州連合 (EU) を素材にして……………野口剛 …… 66

## 書評

- 河音琢郎・藤木剛康 (編著) 『G・W・ブッシュ政権の経済政策：  
アメリカ保守主義の理念と現実』ミネルヴァ書房 2008年……………櫻井潤 …… 80

## 学会動向

- 環境経済・政策学会2009年度大会……………浜本光紹 …… 83
- 日本財政学会第66回大会……………藤岡純一 …… 86





# 特集

ワークショップ

## 「公共事業と公私分担」

---

本特集は、2009年7月30日に京都大学にて開催された「現代財政研究会ワークショップ」の記録である。最初に、門野圭司先生（山梨大学）から、故金澤史男先生の業績の意義について基調講演が行われた。続いて、森裕之先生（立命館大学）より、長野県を事例とした公共事業改革について、金澤先生の業績を踏まえた議論が展開された。両氏の報告を受けて、碓山洋先生（金沢大学）から金澤先生の業績に対するコメントが加えられ、その上で金澤先生の理論をいかに継承し、また同時に発展させていくべきかについて問題提起がなされた。その後、フロアも含めて活発な議論がなされた。

『財政と公共政策』編集委員会

---

# 財政学研究会会則

## I 名称及び目的

本会は財政学研究会と称し、財政学、経済学、公共政策及び関連諸分野における共同研究、ならびに教育方法の研究をすすめることを目的とする。

## II 所在地

京都市左京区吉田本町京都大学経済学部内財政学（植田）研究室に本会事務局を置く。

## III 会員並びに入会規定

会員及び院生会員を定める。会員及び院生会員は所定の会費を納入し、本会の運営及び共同研究活動に参加する。会員及び院生会員の入会は、会員二名の推薦にもとづき総会においてこれを決定する。院生会員から会員への移行については別途定める。

## IV 会代表

本会代表一名を総会で選出する。会代表は総会の招集を行う。

## V 総会

少なくとも年一回は総会を開催し、年間共同研究計画の作成、入会者の決定、会計報告、運営委員の選出等を行う。また、会員の十分の一の要求があれば、臨時総会を開催することができる。

## VI 運営委員会

総会において運営委員若干名を選出し運営委員会を組織する。運営委員会は次の総会までの会務を執行し、必要に応じて事務局を置くことができる。

## VII 会費

会員より年間会費5,000円を徴収する。三ヶ年以上にわたり会費を納めないものは、原則として会員たる資格を失う。院生会員の会費については別途定める。会費の変更は総会が決定する。

## VIII 会計監査及び予算

総会は年間予算を決定し会計監査一名を選出する。会計監査委員は年一回会計監査を行う。

## IX 研究活動

本会は次の諸活動を行う。

- (1) 定例研究会及び合宿研究会
- (2) 専門別研究部会の設置、運営
- (3) 機関誌の編集、発行、普及
- (4) プロジェクト研究及び出版
- (5) その他

## X 『財政と公共政策』

1. 本会機関紙、『財政と公共政策』を年二回発行する。総会において編集委員会を設置し、編集委員会がその編集、発行を行う。編集委員会の規則は別途定める。
2. 定期購読者は実費（送料込）で『財政と公共政策』を購入する。

## XI 付則

本会に必要な改正は、総会において行う。

本会則は1979年4月28日付で発効する。

本会則は2006年8月28日に改正され、同日付で発効する。



## ●執筆者

門野 圭司 (山梨大学)  
森 裕之 (立命館大学)  
碓山 洋 (金沢大学)

植田 洋 (日本福祉大学)  
野口 剛 (京都大学大学院経済学研究科研修員)

櫻井 潤 (北海道医療大学)

浜本 光紹 (獨協大学)  
藤岡 純一 (関西福祉大学)

財政と公共政策 第32巻第1号 (通巻第47号)

2010年6月17日 発行

編集・発行 財政学研究会

編集代表 池上 惇

事務局長 植田和弘

編集委員 内山昭 北村裕明 阪本崇 佐々木雅幸 重森暁

只友景士 鶴田廣巳 森晶寿 諸富徹

事務局 〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学経済学部財政学 (植田) 研究室

TEL. 075-753-3439

FAX. 075-753-3512

印刷 (株)田中プリント

# Public Finance and Public Policy

Vol. 32, No.1 6-2010

## Contents

### Workshop

- Public Investment and Private-Public Burden Sharing  
Keishi Kadono      Lecture of public investment and private-public burden sharing  
in Honnor of Fumio Kanazawa  
Hiroyuki Mori      A Theory of Public Investment Reform based on Nagano Model  
Hiroshi Ikariyama      Commnets  
Discussion

### Refereed Article

- Yo Tsuchida      Leaning City: Political system Of Gothenburg  
Go Noguchi      The foundation of corporate income tax harmonization in  
the European Union

### Book Review

- Jun Sakurai      Economic Policy of G.W. Bush Administration: Ideal ad  
Reality of Conservatives in the United States

### Research Trends

- Mitsutsugu Hamamoto      The 2009th Congress of Society of Environmental Economics  
and Policy Stueids  
Junichi Fujioka      The 66th Congress of Japan Institute of Public Finance

Edited by Society for the Studies in Public Finance (Kyoto,Japan)